



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

**UNU-IAS**

Institute for the Advanced Study  
of Sustainability

第6回環境未来都市構想推進国際フォーラム  
環境未来都市構想とこれからのまちづくり  
ーパリ協定、SDGs等に基づく統合的アプローチとグローバル・パートナーシップー

# 持続可能な開発目標(SDGs)・ パリ協定の意義と都市

2016年8月30日

竹本和彦

国連大学サステイナビリティ高等研究所所長

# 1. 持続可能な開発目標 (SDGs)



17の目標と169のターゲットを  
2015年9月の国連総会にて採択



1972年 国連人間環境会議（ストックホルム会議）

1987年 『ブルントランド委員会報告書 (Brundtland Report)  
- Our Common Future -』

国連の最重要課題として  
「開発」が「持続可能な開発」へ  
↓  
「経済」、「社会」、「環境」を真に**統合**

2015年以降の「開発」アジェンダ／持続可能な開発目標（SDGs）

Transforming Our World  
The 2030 Agenda for Sustainable Development

# SDGsの背景

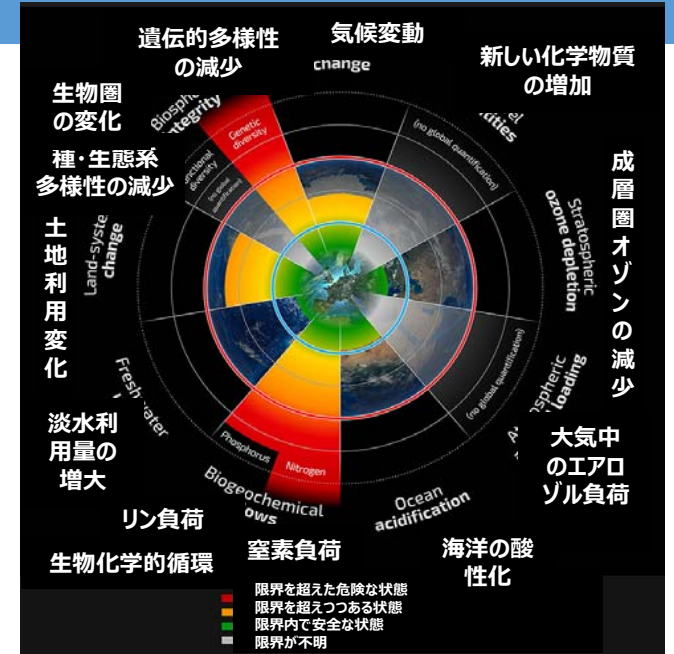
## MDGsで積み残された課題への対処

目標と主なターゲット

<p><b>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる</li> <li>飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる</li> </ul>	<p><b>目標5: 妊産婦の健康の改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦の死亡率を4分の1に削減する</li> </ul>
<p><b>目標2: 初等教育の完全普及の達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする</li> </ul>	<p><b>目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる</li> </ul>
<p><b>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての教育レベルにおける男女格差を解消する</li> </ul>	<p><b>目標7: 環境の持続可能性確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる</li> </ul>
<p><b>目標4: 乳幼児死亡率の削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する</li> </ul>	<p><b>目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする</li> </ul>

※ロは「特定非営利活動法人ほっとけい 世界のまじろ」が作成したもの。

## 地球システムの限界の共有



## 幅広いステークホルダーによる参加型策定プロセス



# 都市のSDGs

## 目標11: 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- 居住、交通、災害、環境、文化・自然遺産といった都市に関する幅広い課題を分野横断的に扱う、都市に特化し独立した目標（MDGsから大きく進化した点）
- 他の多くの目標も都市と相互に関連（例：健康と福祉（目標3）、教育（目標4）、ジェンダー（目標5）、水と衛生（目標6）、雇用（目標8）等）
- 都市に関わるすべての主体による行動を喚起
  - 都市：行政府；関係者の集合体；関係者間のパートナーシップの場

# 日本政府の動き

## 持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

- 2016年5月に内閣に設置。総理が本部長、全閣僚が構成員
- 国内実施と国際協力の両面で、政府一体で取り組む体制を構築
- 国内外の取組を省庁横断的に総括し、優先課題を特定した上で、**「SDGs実施指針」の策定**を予定
- 2016年5月のG7伊勢志摩サミットにおいて、SDGsの実施を国内的及び国際的に進めることに各国がコミット
- G7富山環境大臣会合において、**「都市の役割」に関する平行セッション**を開催。内閣府環境未来都市推進委員会から村上座長が出席



# SDGsの効果的実施に向けた都市の役割

- SDGsの効果的実施に向けては、SDGsの各国における**内部化 (localization)** が急務。
- 都市には世界人口の半数が居住しており、それに伴い様々な**課題 (challenges)** を抱えている。一方、都市は多くのステークホルダーの行動を動員し、パートナーシップを発揮し、**課題解決の機会 (opportunities)** を有する。
- 都市は1992年よりアジェンダ21推進の牽引役を担ってきた実績を有している。
- **先進的な都市 (pioneers)** における野心的な取組は、他の多くの自治体によりフォローされ、**将来の規範 (norms)** へと繋げていく推進役となる。

**環境未来都市がこれまで取り組んできた趣旨に共通**

# SDGsと都市



- 1. Legitimacy (正統性):** SDGsは国連として決定したグローバル・アジェンダ
- 2. Universality (普遍性) & Partnership (パートナーシップ):** SDGsはすべての国に適用され、すべてのステークホルダーの参画により実施される
- 3. Integration (統合性):** SDGsは経済、社会、環境を統合する
- 4. Cities in Focus:** 都市に焦点を当てた目標が設定されている

分野横断的な課題解決を目指す**突破口**となる



# 2. パリ協定と都市

気候変動枠組条約第21回締結会議（COP21）にて採択（2016年12月12日）

## 1. 世界全体の目標

- ・ 気温上昇を2度よりかなり低く抑える。1.5度未満に向けて努力
- ・ 今世紀後半に温室効果ガスの排出と吸収を均衡させる

## 2. 各国の削減目標（全ての国が自主的な削減目標）

- ・ 作成・報告、達成の国内対策を義務化
- ・ 5年ごとに更新。後退させない

パリ協定はこれからの道程の出発点

- ・ 各国がコミットした削減約束の達成に向けた国内制度の整備（法律や税制措置など）
- ・ 自治体やビジネス界などの関係者（ステークホルダー）との連携強化
- ・ 長期的目標の達成に向けた各国の削減約束の定期的なレビューと段階的引き上げが不可欠



Photo from BBC News

# パリ市庁舎宣言：COP21へのゆるぎない貢献

アンヌ・イダルゴ パリ市長とマイケル・ブルームバーグ前ニューヨーク市長（都市・気候変動担当の国連特使）が中心となって開催した「**首長による気候サミット**」にて採択（2015年12月4日）

- 世界中の都市に世界人口の半数が住み、その活動で**地球全体の温室効果ガス排出量の3分の2**を排出
- 2030年までに、**都市部の温室効果ガス排出量を年間37億トン削減**（各国の削減目標の積み上げと2℃目標達成に必要な排出削減量の差の30%分に相当）を実現する。
- 地域における**100%再生可能エネルギーへの転換**や**2050年までに温室効果ガスの80%削減**など、野心的な長期目標を支援する。

**都市が各国の国内対策を牽引**



Photo from UCLG website

# まとめ

1. **Legitimacy (正統性)**: SDGsは国連として決定したグローバル・アジェンダ
2. **Integration (統合性)**: SDGsは経済、社会、環境を統合する
3. **Universality (普遍性)**: SDGsは、すべての国に適用される。パリ協定にすべての国がコミット
4. **Role of Cities (都市の役割)**: 都市に焦点を当てた目標が設定され、分野横断的な課題解決を目指す突破口となる
5. **Partnership (パートナーシップ)**: すべてのステークホルダーの参画・連携により実施される



**Leadership: SDGsの達成に向け、また、パリ協定を実施する上で、都市が主導的役割を果たすべき**